

## 薬学共用試験センター会務報告(平成27年10月)

2015-030 10月3日(土) 13時~17時

薬学共用試験 OSCE 課題見直しに関するワークショップ前日打合せ

場所：名城大学薬学部新3号館2階201教室

出席者：

橋詰 勉 委員長

入江徹美、野田幸裕 各副委員長

岡村 昇、木津純子、田村 豊、富岡佳久、中嶋幹郎、

松下 良、松元一明、山田純一、各委員

矢ノ下玲、中嶋香織、松本有未、原 博 (事務局)

議題

1. OSCE 課題見直しに関するワークショップについて
2. その他

2015-031 10月4日(日)

**薬学共用試験 OSCE 課題見直しに関するワークショップ**

開催場所：名城大学薬学部（名古屋市天白区八事山 150）新 3 号館 2 階・3 階  
P (202) S (203A, 203B, 204A, 204B, 301A, 301B, 302, 303, 304)

参加者：83 名（大学教員 74 名，日本薬剤師会推薦 5 名，日本病院薬剤師会推薦 4 名）

形式：1P9S

プログラム概要

(P：全体会議，S：小グループ討議)

09:30 受付：新 3 号館 1 階

司会：野田幸裕

10:00 P 開会の挨拶および開催趣旨 名城大学薬学部長 平松正行  
野田幸裕  
P 挨拶 文部科学省高等教育局医学教育課 薬学教育専門官 前島一実  
P 「薬学共用試験 OSCE に関するワークショップ」の報告 松下 良

**第 1 部 新規検討課題例に基づく実施の検討**

10:20 P 薬学共用試験 OSCE 課題作成の経緯と第 1 部・第 2 部の作業説明 橋詰 勉  
(各 S へ移動：A-I)

10:45 S SGD：第 1 部  
(昼食)

**第 2 部 今後の OSCE 実施内容と現課題改訂案の作成**

12:45 S SGD：第 2 部

14:15 P 発表（5 分＋質問 1 分 ×9） 入江徹美  
野田幸裕

15:15 P 総合討論

15:45	P	講評	厚生労働省医薬食品局総務課 課長補佐	紀平哲也
	P	講評およびお礼	薬学共用試験センター理事長	山元 弘
15:55	P	総括および閉会の挨拶		橋詰 勉

## 2015-032 10月14日(水) 第2回システム検討委員会

開催場所：東京理科大学 情報科学研究センター2階会議室

出席者（敬称略）：

宮崎 智、飯島史朗、石川智久、瀧澤 誠、松野純男  
オブザーバー

阿曾紀之、今川 浩、大野真丈、黒川秀昭（富士通）、  
矢ノ下玲、中嶋香織、松本有未、原 博（事務局）

### 議題

1. 防災訓練【実施日：9月8日（火）～9日（水）】の実施報告および反省点について
2. セキュリティ運用手順について  
共用アカウントの廃止と一意アカウントの作成について
3. サーバー群のセキュリティについて、以下の質疑応答が行われた。
4. 問題作成システム数式エディタの改修について
5. 次期センターサーバーの仕様について
6. その他
  - ・ CBT 問題公開の PDF データ提供について
  - ・ クライアントソフトの解答状況一覧画面について
  - ・ 問題審査システムについて
  - ・ 問題作成システムの検索機能について

## 10月14日(水) 薬学共用試験運用支援 2015年度9月定例会議

### 出席者

システム検討委員会：宮崎 智、飯島史朗、石川智久、瀧澤 誠、  
松野純男

事務局：矢ノ下玲、中嶋香織、松本有未、原 博

富士通：プロジェクト担当者4名

ソフィア：システム開発プロジェクト担当者1名

シンク：システム開発プロジェクト担当者1名

### 議題

1. 前回議事録確認
2. マスタースケジュール確認
3. 定例運用作業報告
4. QA対応報告
5. 依頼事項
6. 事業継続訓練の報告
7. その他

## 2015-033 10月23日(金) 第1回試験統括委員会

出席者（敬称略）：

委員長：中村明弘

副委員長：前田定秋、山口政俊

委員：家入一郎、石橋芳雄、宇野文二、佐治英郎、佐藤憲一、杉原多公通、  
滝口祥令、林 秀敏

オブザーバー

矢ノ下玲、中嶋香織、松本有未、原 博（事務局）

欠席者：青木 隆、小澤孝一郎 各委員

議題：

- (1) CBT 各ゾーン開始前の確認画面の改訂について
- (2) 基準点未到達者への得点の開示について
- (3) 平成 27 年度 CBT 体験受験の実施報告
  - ・実施結果
  - ・トラブル報告
  - ・防災訓練の実施報告
- (4) CBT 問題公開について。
- (5) 平成 27 年度薬学共用試験本試験の準備状況について
  - ・準備中のトラブルについて
  - ・特別措置について
- (6) 来年度に向けての検討事項
  - ・実施要項の記述や用語の見直しについて